

102-57

問題文

閉塞性動脈硬化症に関する記述のうち、正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 若い女性に好発する。
2. 間欠性跛行が特徴的症状である。
3. 上肢の動脈に多発する。
4. 血管炎を伴う。
5. 患肢に熱感がある。

解答

2

解説

閉塞性動脈硬化症とは、動脈硬化により、主に下肢の動脈の血流が悪くなる症状です。動脈硬化とは、血管にコレステロールなどが付着することで血管が硬くなる現象のことです。その結果、手足が冷たい、しびれといった症状や、一定距離歩くと、主にふくらはぎがかなり痛んで歩けなくなる。（数分でよくなる）といった症状が見られます。

選択肢 1 ですが、好発は中年男性です。
若い女性ではありません。

選択肢 2 は、正しい選択肢です。
間欠性跛行（かんけつせいはこう）とは、休み休みでないと歩けない状態です。

選択肢 3 ですが
主に下肢動脈に起こります。上肢（腕のこと）ではありません。

選択肢 4 ですが
これは類似疾患であるバージャー病の記述です。閉塞性血栓血管炎とも呼ばれます。血管内膜性の炎症が起きて、閉塞する疾患です。

選択肢 5 ですが、冷えやしびれを感じます。
熱感ではありません。

以上より、正解は 2 です。